

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和5年5月12日

施設名	港区立郷土歴史館	施設所管課	教育委員会事務局教育推進部図書文化財課文化財係
所在地	港区白金台4-6-2	指定管理者	アクティオ・東急コミュニティー共同事業体

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
計画の推進や進捗、軌道修正が必要な際に、一部の職員や一般スタッフに十分に伝達できていないことや、区の学芸員と足並みがそろわないことが見られました。	アクティオ株式会社	職員・スタッフへ、計画の推進、進捗について丁寧に説明することを心掛け、運営ビジョンの共有、3カ月ごとの計画表の共有、朝礼・終礼での伝達を行い、適切なタイミングでの情報提供に取り組みました。 区学芸員との連携では、定例会議等を活用し、学芸員の協力を得て利用者からのご要望の反映を行い、改善できた実例もありました。	引き続き計画内容や進捗について、職員とスタッフが一体となって取り組めるよう、丁寧な説明と、適切なタイミングでの情報提供に取り組んでいきます。また、区学芸員との連携の強化のため、月次報告会の他担当者間との打ち合わせを有効に活用し、適切に進捗の共有をしていきます。	郷土歴史館事業の進行にあたっては、毎月開催する定例会を中心に学芸員と指定管理者が情報共有を密に行うことは重要です。引き続き、日常から所管課と指定管理者と円滑な連携を図ってまいります。
危機管理の面では、危険個所や整備不良の見落としの発生、危機対応訓練が実態に即した内容となっていない点がありました。早急に、総点検や訓練方法の見直しをする必要があります。	アクティオ株式会社	スタッフ日報に、危機管理に関する項目を増設し、問題点の共有漏れがないよう改善を行いました。また、参加者数が低迷していた避難訓練の内容を見直し、参加者数を増加させました。 また、他施設の設備員によるインスペクションを行い、多面的に安全管理を見直す機会を設けました。 一方、安全に関する事案（人為的ミスとシステムの欠陥、報告漏れ）が発生し、再発防止策として、システム改修による人為的ミスの撲滅、報告・連絡フローの見直しと、危機管理マニュアル研修を実施しました。	令和4年度は多数の改善ができた一方、本来、施設すべき時間に開いていたといった安全に関する事案が発生した点を重く受け止め、令和5年度は安全管理を最重要課題として位置づけます。 令和4年度に実施した対策の継続に加えて、危機管理に関する研修を年2回以上実施してまいります。 また、避難訓練は参加者数の維持と、より実践的な内容となるよう、継続して改善に取り組んでまいります。	施設の安全・安心な運営を行うために、危機管理対応は極めて重要です。また、施設内において危機が発生した場合に所管課への報告は、迅速に行わなければなりません。 さらには、安全安心の視点を忘れることなく、実践に即した避難訓練をはじめ、マニュアルの習熟に努め、区民の目線に立って業務遂行をされるよう努めてください。
利用者アンケートでは、展示内容についてわかりやすい表現をした解説や資料が少ないことへの指摘があり、区の学芸員のプランと協調して改善していく必要があります。	アクティオ株式会社	利用者ニーズを区学芸員と共有し、改善に取り組みました。 指定管理者の実施する事業において、展示の理解が深まる関連事業や、様々な年代の方を対象としたイベント、わかりやすい表現を用いた広報活動を行い、展示理解の一助になるよう努めました。 また、区学芸員の協力を得て、図書室に、資料理解の手助けとなる参考図書を増設しました。	引き続き、区学芸員と協調し、展示内容の理解を深める解説資料の充実などの改善に取り組むとともに、利用者ニーズの把握と分析のため、アンケート回収数を増加させる取り組みを行います。	利用者目線に立って、郷土歴史館をわかりやすく案内に努めるとともに、アテンダントスタッフが案内を円滑にできるように、学芸員と協力して取組ながら、郷土歴史館のリピーターと新たな利用者の獲得を目指します。